

EVDOマルチキャリア共用検討方法について

2009年9月10日

KDDI株式会社

- ◆ 携帯電話システムで新システムが導入される場合、一般的に以下の干渉検討を行っております。
 - ✓ 基地局－基地局間の干渉検討 ⇒ 最悪値計算
 - ✓ 移動局－移動局間の干渉検討 ⇒ 確率計算(モンテカルロシミュレーション※)※モンテカルロシミュレーションの概要は次項に記載。
- ◆ 今回、新システム基地局の干渉検討に関連する送信スペックは、従来のEV-DO Rev.Aシステムと変更がないため、基地局－基地局間の干渉検討は省略いたします。
- ◆ ラジオマイク等及び放送用FPUとの干渉検討に関しては、新システムの移動局送信、ラジオマイク等及び放送用FPUの受信機受信の検討を行いますが、具体的評価方法については別途関係者と調整中。

- ◆ 移動局は、その存在場所は一定ではなくサービスエリア内で任意の場所を使用することとなります。
- ◆ このため、移動局間の干渉（場合により与干渉被干渉のどちらかが移動局の干渉）については、移動局の所在場所により変化する受信電力等の影響を考慮した確率論的なアプローチであるモンテカルロシミュレーションによる検討を行うことが多いと思います。
- ◆ 干渉検討のモデルを下図に示します。被干渉局から対象半径の範囲に与干渉のトラヒック量に応じた移動局をランダムに配置し、与干渉局からの総干渉電力を求め、この値が許容干渉レベルを超える確率を求めます。

